

## 認知症サポーター養成講座を開催しました。

但陽信用金庫がこのほど、店内で困っている高齢者に適切な対応を図ることを目的に、全役職員を対象に「認知症サポーター」の養成を始めました。6月17日、18日の2回に渡って養成講座を開催し、延べ57名が受講。基本的な認知症の症状についての知識や事例を通しての対応方法を学びました。



但陽信用金庫高砂支店。高砂市地域包括支援センターの職員が講師を務め、認知症サポーター養成講座を開催した。

### 《参加者の声》

- 過去に認知症と思われる方と接しましたが、多々、反省することがあり、恥ずかしくなりました。この講座を今後に応用していきます。
- どんな対応も自分に余裕があってこそできるものと思うので、余裕を持って業務活動に取り組んでいきます。
- 認知症の方は自覚症状がないと思っていましたが、そうではないことを学び驚きました。
- 認知症の方や家族の方々の気持ちになり、思いやりのある対応を心がけたいと思います。
- 亡くなった祖母が認知症を患っていたので、もう少し早く講座に参加できていればと思いました。
- 身近な親類に認知症の方がいます。まず、理解することから始めたいと思います。
- 地域包括支援センターとの連携が必要と感じました。

高砂社協だより

また、認知症サポーター養成講座は、住民だけでなく、企業・職域団体、学校、行政も受講の対象です。先日は、**但陽信用金庫本荘支店**より要請があり、11人の職員が受講しました。ATMの操作に戸惑ったり、窓口で印鑑、通帳がないと言う高齢者の接し方について、ロールプレイを行いました。相手の目線に合わせてやさしい口調で対応し、決して相



但陽信用金庫での養成講座の様子。どのように接するのが良いのかについてグループで協議をしました。(N)

認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る「認知症サポーター」は、全国では170万人を超えています。播磨町では、19、21年度の養成講座で151人のサポーターがいます。22年度の養成講座は未定ですが、6月には**サニーハウス自治会**のサロンより要請があり、新たに9人のサポーターが誕生しました。

手の自尊心を傷つけない態度に、日頃からの接客姿勢がうかがわれ、このような金融機関が播磨町にあることをうれしく思いました。これからも、地道にサポーターを増やし続け、当事者家族の会を作っていく計画です。どうぞ、みなさんのお力を貸してください。

播磨町の認知症サポーター  
おじいちゃんおばあちゃんが増えるぞ。

はりま社協だより